

風水害・土砂災害②

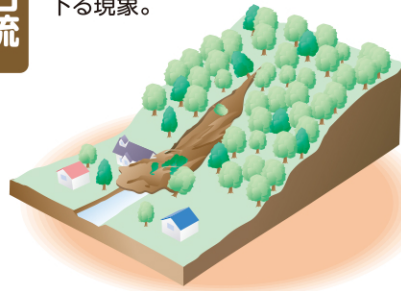
避難するときは、がけ崩れや地すべり・土石流等の二次災害を考慮に入れ、足元に注意して避難しましょう。

土砂災害に備える

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や集中豪雨が続いた時に発生するとされています。土砂災害の要因となる降雨について、常日頃から注意しておく必要があります。

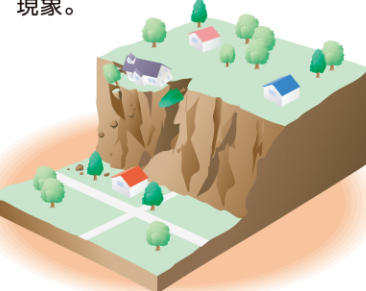
土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。



こんな前ぶれ現象に注意!!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防署・警察署へ通報してください。



山鳴りする



雨が降り続いているのに川の水位が下がる



地面にひび割れができる



川の流が濁り流木が混ざりはじめる



小石がパラパラ落ちてくる



斜面から水がふき出す

雨に注意しましょう



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

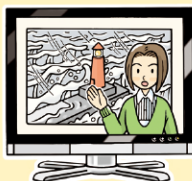
逃げ方を覚えましょう



土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

台風 に注意!!

台風とは、熱帯地方の海上にできる低気圧のうち、低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s以上のものをいいます。台風が近づくと、気象台から台風の強さと大きさ、現在位置、予想進路、中心付近の風速などが発表されますので、情報をよく聞き、風水害・土砂災害に備えましょう。



風水害・土砂災害が起きたら…

1 最新情報入手



テレビ・ラジオなどで最新の気象・災害情報に注意し、危険を感じたら避難準備をしましょう。

2 呼びかけに注意



役場、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。

3 避難所を確認



避難する前に、ガス、電気、火種を消し、避難所を確認。万一途中で家族が離ればなれになったときの集合場所を決めておきましょう。

4 2人以上で避難



できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子供からは目を離さないようにしましょう。

5 助け合って避難を



子供や高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。また、近所の人の場合も積極的に協力しましょう。

6 安全な避難



浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは、土砂災害のおそれがあるので注意しましょう。

7 徒歩で避難



車での避難は、緊急車両の通行の妨げや交通渋滞を招き、浸水すると動けなくなるおそれがあります。特別な事情がない限り、避難は徒歩で行いましょう。

8 避難に遅れたら…



万一、避難に遅れ危険が迫ったときには、近くの丈夫な建物のできるだけ高いところに逃げましょう。

浸水時の歩行に注意!!

浸水した場合、水の流れがなくても歩ける深さの目安は、ひざ下(約30cm)くらいまでです。水の深さが腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。



裸足や長靴は避け、ひもで締められる運動靴を履きましょう!